

鹿児島県医師連盟ニュース

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL: 099 - 213 - 1011 FAX: 099 - 213 - 1012

衆院選で、自民公認候補を激励 鹿児島県医療関連団体が総決起大会

鹿児島県の医療関係6団体による衆院選総決起大会が、10月13日午後7時から鹿児島県医師会館4階大ホールであり、490人が会場を埋めた。22日の投票日を前に、自民党の公認候補を激励するのが目的で、鹿児島1区のやすおか宏武候補(44)、2区の金子万寿夫候補(70)夫人、比例九州のみやじ拓馬候補(37)が駆けつけ、決意表明した。

決起大会では、まず鹿児島県医師連盟の池田琢哉委員長が挨拶。「自民党の公認候補は、日本のため、鹿児島のためなくてはならぬ存在です。自民安定政権のもと、社会保障をはじめ、国民、県民のための政治を実現しようではありませんか」と激を飛ばした。このあと、鹿児島県歯科医師連盟の竹之下伸一会長、鹿児島県薬剤師連盟の上野泰弘会長、鹿児島県看護連盟の徳永龍子会長が次々に挨拶。「一致団結して、自民党の勝利のために、戦い抜きましょう」と候補者を激励した。

引き続いて、みやじ候補が「自民の選挙区候補を全力で応援する。自民党は、未来を開く政党であり、子どもや孫のためにしっかりした社会保障を作り上げていくのも私たちの役目だ。流した汗が報われる社会を目指したい」と決意を述べた。やすおか宏武候補は、公示直前、父興治氏が病気を

理由に立候補を辞退したことについて、その経緯を説明して、お詫びしたあと、「18年、地元秘書として皆さんの声を聞き、国に届けてきた。父の志を継いで、何としても議席を守りたい」と決意表明した。金子夫人は「大変厳しい選挙です。がんばりますので、支持をお願いします」と述べた。

このあと、日本栄養士連盟鹿児島支部の川西孝子支部長がやすおか候補に、鹿児島県看護連盟鹿児島第1支部の永井公身支部長がみやじ候補に、県医師連盟が金子夫人にそれぞれ花束を贈った。

決起大会の最後は、鹿児島県薬剤師連盟の阿久根憲造幹事長が、「残された期間をがんばり抜こう」と檄を飛ばし、全員で「がんばろう」を三唱した。

衆院選の投票日は10月22日。鹿児島県医師連盟は県内4選挙区と比例九州で、鹿児島の自民党公認候補を推薦している。

(文責・事務局)

各選挙区の推薦候補者は次の通り。

- 【鹿児島1区】 保岡 宏 武
- 【鹿児島2区】 金子 万寿夫
- 【鹿児島3区】 小里 泰 弘
- 【鹿児島4区】 森山 裕
- 【比例九州】 宮路 拓 馬